

枚中だより

東大阪市立枚岡中学校

No. 1 平成30年4月26日発行

枚岡中学校は、今年70周年を迎えます

校長 田中裕章

4月6日、本校第72期生216名を迎え、全校生徒684名でスタートしました。創立当時の3年生を第1期生としましたので、70周年を迎える今年の3年生が70期生ということになります。

今年の運動会は、第70回の記念大会となります。今年度は、学校の行事などもすべて70年目ということ意識して取り組んでいけたらと考えております。東大阪市には現在25の中学校がありますが、7番目に歴史のある中学校ということだそうです。



私自身は、ことし、本校で3年目を迎えます。赴任当時から枚岡中の生徒には感心させられることが多いのですが、赴任当時、私と一緒に慣れない中学校生活をスタートさせた70期生も、もう立派な3年生となりました。つい先日も、部活動から帰る途中の生徒が風に舞っているごみを3人で集めてごみ箱に運んでいる姿を見かけました。何でもないこと（当たり前といえば当たり前のことかも知れませんが）が自然にできている姿がとてもいいなと思いました。「枚中の生徒には、いつまでもこうであってほしいな」と思うことがこの2年間とても多かったと感じています。

来年度、平成31年度から本市では全市的に「小中一貫教育」がスタートします。今年度は、本格実施を1年後に控え、「プレ実施」の年になり、昨年度に比べても小学校6年生が中学校に登校する回数も増え、東大阪市の独自教科である「未来市民教育」の準備も本格的になります。小中一貫教育に向けて枚岡中学校区の小中学校全教職員が一丸となって取り組みを進めてまいります。

また、本年度も中学校区四校園（枚岡幼稚園・枚岡東小学校・枚岡西小学校・枚岡中学校）の教職員でアイデアを出しながら、子どもたちの健やかな成長につながる取り組みを考えていきます。

今年度も学校と家庭が手を携え、地域の方々のご協力も頂き、子どもたちの成長に関わり、力を尽くしていきたいと気持ちを新たにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



平成 30 年度 教職員

| 1 年 | | | 2 年 | | | 3 年 | | |
|--------|-------|---|-------|-------------|---|---------|-------|---|
| 1 組 | 高田 健吾 | 体 | 1 組 | 坂田 明 | 社 | 1 組 | 横井啓史朗 | 国 |
| 2 組 | 松下 未侑 | 英 | 2 組 | 藤 あゆみ | 数 | 2 組 | 上田 美和 | 英 |
| 3 組 | 南 優祐 | 社 | 3 組 | 村中 祥晃 | 英 | 3 組 | 芳仲進之介 | 理 |
| 4 組 | 福井 美穂 | 国 | 4 組 | 桑田 菜摘 | 理 | 4 組 | 江淵 太地 | 数 |
| 5 組 | 福本 明 | 社 | 5 組 | 岡田 英明 | 英 | 5 組 | 二宮 梨奈 | 体 |
| 6 組 | 山中 聡美 | 理 | 6 組 | 阪本久美美 | 体 | 6 組 | 井本 幸司 | 社 |
| ★2 副 | 入江 賢 | 技 | ★2 副 | 松浦 雅美 | 英 | ★3 副 | 木村 廣代 | 家 |
| 1, 3 副 | 大塚千恵美 | 数 | 1 副 | 笠井 優 | 数 | 1, 4 副 | 丸谷 怜央 | 音 |
| 4 副 | 勝田 真平 | 英 | 3 副 | 吉田 恵 | 美 | 2 副 | 宇敷 典子 | 数 |
| 5, 6 副 | 後藤 千尋 | 国 | 4 副 | 香川 正行 | 社 | 5 副 | 松村美登利 | 英 |
| 小中一貫 | 谷口 陽子 | 国 | 5 副 | 南野 美咲 | 国 | 6 副 | 森本 繭 | 英 |
| | | | 6 副 | 浅尾 弘晃 | 理 | 生徒指導 | 池田 滋博 | 体 |
| 特別支援 | 林 喜世子 | 体 | 特別支援 | 中野 秀彦 | 数 | 特別支援 | 前田 幸一 | 国 |
| 特別支援 | 藤原 正明 | 体 | 特別支援 | 安田 慎司 | 体 | 保健室 | 石崎 智美 | |
| 校 長 | 田中 裕章 | 理 | 教 頭 | 金岡 一磨 | 技 | 事務 | 川本 直輝 | |
| 事務 | 津田 啓次 | | SH | 山口 齡子 | | ラグビー指導員 | 石野 龍大 | 体 |
| 校務員 | 竹中 順一 | | A L T | JacobWagnon | 英 | S C | 山本 彰子 | |

★印は学年主任の先生、SH はスクーラーヘルパー、S Cはスクールカウンセラー
1 年間、よろしくお願いします。



着任された先生方 ()内は前任校

津田先生(高井田中)、香川先生(長瀬中)、中野先生(盾津東中)、芳仲先生(布施中)、
高田先生(長栄中)、安田先生(意岐部中)、南先生(交野二中)、後藤先生(八尾東中)、
浅尾先生(新任)、岡田先生(大阪国際滝井高)、笠井先生(松阪 中部中)、

離任された先生方 ()内は赴任校

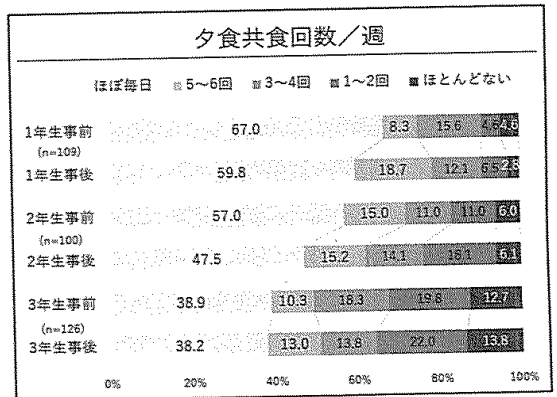
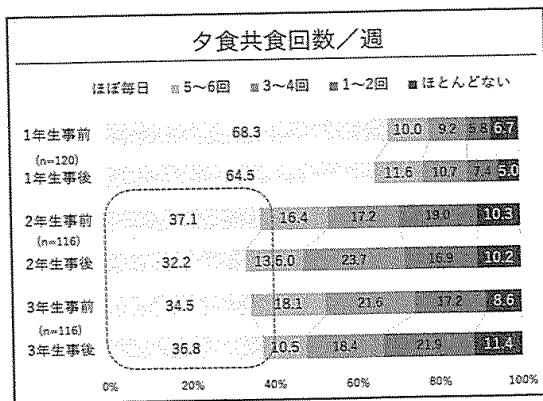
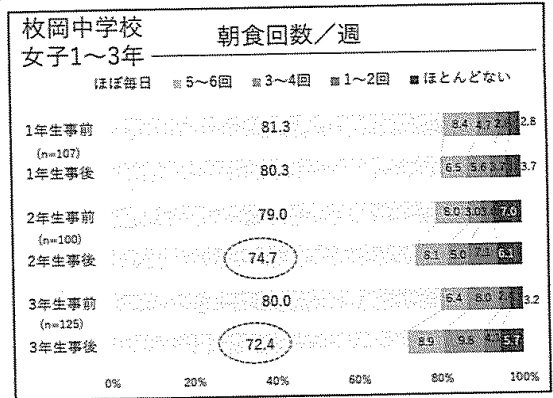
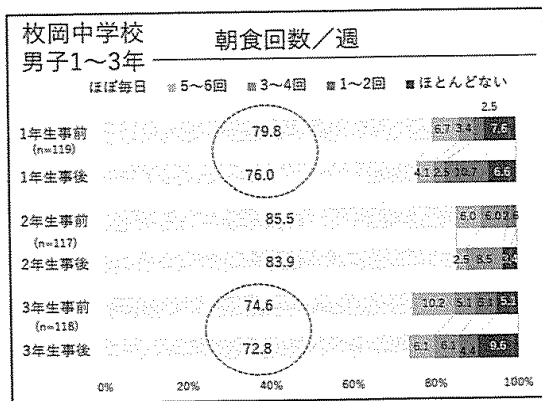
松村一夫先生、正司進先生、木村定夫先生、戸嶋沙都子先生、山田匡敏先生、
西海晋生先生、佐藤隆博先生、梶田健司先生、浅田直先生、岡崎隆司先生



食育関連調査の結果についての分析

本校では、数年前より大阪市立大学の栄養教育研究室の早見先生の「食生活と心身の健康調査」に協力し、生徒のアンケートを分析していただいています。質問の内容は多岐にわたっていましたが、本校のデータを一部紹介します。

調査は、昨年度の7月（事前）と2月（事後）に実施したもので、学年は昨年度のもので、下のグラフの左側は男子、右側は女子で、上は1週間の朝食を食べた回数、下は1週間で夕食を家族と食べた回数です。



上の2枚を見ると、1年生（71期生）では、男子より女子の方が、2年生（70期生）では、女子より男子の方が、朝食をしっかり食べて登校していることがわかります。

また、1年男子、2年女子には、6%以上もの生徒がほとんど食べないと回答しています。他校との比較でも、毎日食べている生徒の割合は男子で2~5ポイント、女子で1~3ポイント低くなっています。

下の2枚をみると、男女とも学年が進むにつれて家族と夕食をとる回数が減っていく傾向があることが見て取れます。「家庭で食事中に話をするか」という質問には男女とも9割の生徒が肯定的な回答をしていますので、時間を合わせるのが難しいこともあるかとは思いますが、団らんの時間も大切にいただけたらと思います。